

ProMED-mail情報 2020年 3月版

ProMED-mail <https://www.promedmail.org/> の記事から、感染症業務関係者の皆さまにピックアップ記事を紹介し、FORTH（厚生労働省検疫所の情報提供サイト <https://www.forth.go.jp/>）に掲載されるものは省略しています。

編集：厚生労働省福岡検疫所

掲載日	表題	概要
31日	クリミア・コンゴ 出血熱(CCHF) パキスタン	保健当局がコロナウイルスの脅威に対処している中、致命的なウイルス性疾患であるCCHFの症例がシンドで浮上し、1週間で2人がそのマダニ媒介性疾患であると診断。死亡率が40%を超えるウイルス性疾患であり、主に肉屋や、羊飼いを含む家畜を扱う人々が感染した動物に接触し感染。
28日	COVID-19 イラン	パンデミックで大きな打撃を受けているイランで、高濃度のアルコール飲用でウイルスが防げるといった間違った噂のため、メタノールを飲用した国民の1,000人以上が失明など中毒症状を起こし、300人近くが死亡。
26日	ハンタウイルス 感染症 中国	出稼ぎ労働者が仕事のため山東省へのバス移動中に死亡。患者の故郷である雲南省では2015年～2019年に合計1,231例が報告。げっ歯類の尿、唾液、または便との接触で感染。ヒト-ヒト感染は稀で、死亡率は36%。
22日	マラリア インド	先週4例の新しい症例が報告され、2020年の罹患患者数が19例に達した。昨年同時期には1例の報告もなかった。サウスデリーでは少なくとも118世帯で蚊の繁殖が報告され、393件の法定通知。また、今年になって、少なくとも22例のデング熱と14例のチクングニアが報告。
21日	狂犬病 米国	2020年2月13日、保健環境管理省が、狂犬病の野良猫から感染した4人について報告。通常、感染した動物に咬まれて感染するが、開放創や目、鼻、口などに唾液が付着して感染することもある。予防のため最も簡単で効果的な方法の1つは、定期的なペットの予防接種。
17日	ウエストナイル熱 米国	2020年3月1日ルイジアナ州で第1例目が報告。通常は5月以降であることが多い。昨年は20人が罹患し、2人が死亡。最も深刻なタイプは神経侵襲性感染症であり、麻痺、脳損傷および死に至る可能性がある。
13日	ライム病 (ベクター) 米国	2019年メイン大学ダニ研究所に提出された鹿のダニ(2,056検体)の38.8%がライム病細菌陽性。他に陽性となったのは一般的なダニ媒介性疾患の原因となるAnaplasma原虫(8%)とBabesia原虫(6%)であった。
11日	A型肝炎 中国	中国東北部の遼寧省で発見されたA型肝炎の症例に対し、潜在的な流行ではと国民は懸念を抱いている。2020年3月7日、保健当局は症例はこの地域で散発的に発生したのみと述べ、症例数を明らかにしなかった。
10日	炭疽(家畜) 米国	テキサス州の獣医師は、酪農家に対して家畜への予防接種を奨励。ワクチンは通常、春先に、流行が始まる2～4週間前に投与。豚、馬、ヒツジ、ヤギ、牛で使用可能(ワクチンは日本国内では販売されていない)。炭疽菌に感染すると、通常3～7日以内に症状を示し、48時間以内に死亡。
8日	鳥インフルエンザ インド	ケララ州のコジコデ地区から鳥インフルエンザの症例が報告され、畜産酪農漁業庁はガイドラインを発表し警戒を促した。アラプザ地区のクッタナード地域で数百羽のアヒルが感染したのに続き、過去5年間に2例目。
7日	デング熱 研究	デング熱を媒介する蚊を制御することが戦略として効果的。遺伝子工学の進歩により病原体を獲得および伝達する能力を制限した蚊を作成することが可能となった。
5日	ラッサ熱 ナイジェリア	2020年第9週の症例数は、第8週の102例から85例に減少。第1週～9週までの累積死亡は132人で、死亡率は17.0%。前年同期間は22.1%。主な年齢層は21～30歳で男女比は1:1.2。前年同期期に比べ、疑わしい症例数が大幅に増加。
3日	キャサナル森林病 (サル熱) インド	カルナタカ州で、1ヶ月前のシバモガ地区での58歳女性に続き、ウッタラ・カンナダ地区で64歳住民が死亡。死亡例は州で2例目。シバモガ地区だけで55人がウイルス検査陽性。そのうち22人が2～3回のワクチン接種を受けていた。